

企画 8 | 行動しよう!! 一人の一步がみんなの百歩!!

実施期間・日程

平成23年6月～10月

実施内容

平成23年3月11日、東日本大震災の発生は私たちに大きな衝撃を与えました。テレビに映る津波の被害はすさまじく、自然の恐ろしさを思い知らされました。しかし、この大震災に負けまいと、日本各地でさまざまな団体が立ち上がり、被災地を復旧・復興させようという動きが始まりました。

そのような中で私たちは、自分たちにできる『何か』をしようという思いから活動を始めました。仲間とともにその何かについて考え、いろいろな計画を考えていく中で『図書寄贈』という企画を考えました。

なぜその企画にしたのか？それは、図書を集めることが、

大学という場所では容易であると考え、学生を中心として先生方や事務の方など、多くの方々に参加してもらおうという思いがあったからです。

そして、友人や先生方に声をかけて企画を知ってもらい、図書の寄贈を求めました。また、授業の数分間を使わせていただいで、学生に向けて広報させていただきました。

また、この企画に関するチラシを作り、いろいろな所に貼らせていただきました。そして、チラシを貼らせていただくなかで、拓大の事務の方々や就職課の方々、図書館の方々などにも協力していただきました。

成果

この活動の呼びかけによって、852冊の図書を集めることができました。これは学生や先生方、図書館の方々の協力によって集まったものです。また拓殖大学外の方にも図書を寄贈していただきました。

そして、集まった図書を岩手看護短期大学の図書館様が活

動していた図書寄贈による被災地支援活動に送らせていただきました。

この岩手看護短期大学図書館では計8000冊もの図書が全国各地から集まり、11月5日に大槌町の教育委員会に寄贈されました。



団体の名称

国際学部有志

代表者氏名・学部学科名等

関 廣
国際学部国際学科 3年

反省点・感想及び意見

今回の活動で、私たちはプロジェクトをより良い方向に進めていく大変さを知りました。

当初の考えでは、より多くの学生に協力してもらい、たくさんの方々の図書を集めること、フリーマーケットを開催することと考えていましたが、実際には企画自体を知ってもらうこともままならず、学生の協力も少ないまま進んでしまい、結果としてTシャツ作成、うちわ作成、フリーマーケットの開催は断念せざるを得ませんでした。

また、被災された地域の図書に対するニーズの知識も欠けていたため、被災地が中心ではなく、私たちの考えが中心と

なった活動になってしまったことも反省点です。

しかし、計画の変更があったものの852冊の図書を集めることができ、被災された地域に贈ることはできました。私たち学生の微力な力ではありましたが、最初の目的であった『何か』をする事はできたのではないかと思います。また、この『何か』をするために多くの人に協力していただきました。その協力をいただいたからこそ、私たちの活動が達成できたと考えています。協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。

今後の計画・展望

図書寄贈という活動は、他の災害ボランティアなどとは異なり、すぐにその価値・意味などが出るものではないのかもしれませんが、ただ、無意味ではないと思います。ですから、私たちのこの活動が、将来どこかでほんの少しでも価値や意味を生んでくれれば幸いです。

支出報告書

支出総額	28,900円
給付額	100,000円 ※当初の計画を実行できず、残額71,100円は大学に返還

寄贈リスト

Table with columns: 書名等, 著者名, 出版事項. Lists various donated books and their details.

Table with columns: 書名等, 著者名, 出版事項. Lists various donated books and their details.

Table with columns: 書名等, 著者名, 出版事項. Lists various donated books and their details.

Table with columns: 書名等, 著者名, 出版事項. Lists various donated books and their details.

Table with columns: 書名等, 著者名, 出版事項. Lists various donated books and their details.

合計852冊